

環境共生住宅推奨部品 部品紹介



一般社団法人  
環境共生  
まちづくり協会

パナソニック製エネファーム

東京ガス株式会社

部品种類	家庭用ガスコージェネレーションシステム	
部品の概要・特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市ガスから電気とお湯をつくる。それが、『エネファーム』</li> <li>都市ガスから、電気とお湯を同時につくります</li> <li>地球環境に優しくムリなくエコな生活を実現</li> </ul>	
適用範囲	■新築 ■リフォーム	
部品の紹介URL	<a href="https://home.tokyo-gas.co.jp/housing/eco_equipment/enefarm/panasonic.html">https://home.tokyo-gas.co.jp/housing/eco_equipment/enefarm/panasonic.html</a>	

【部品の特長 ①】

エネファームのしくみ

① 発電のしくみ

都市ガスから取り出した水素と、空気中の酸素を化学反応させることで発電します。

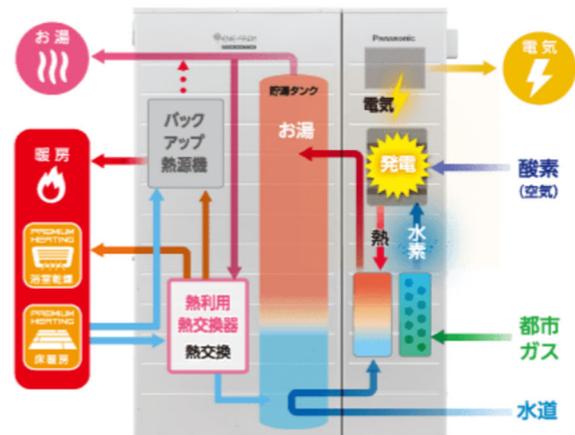
② 給湯のしくみ

発電時に発生する熱を利用して約60°Cのお湯をつくり、設定温度になるよう水と混ぜて出湯します。  
貯湯タンクのお湯がたりない時や、お風呂の追いだきはバックアップ熱源機で加熱します。

③ 暖房のしくみ

PREMIUM HEATING

暖房設備に使う温水は、バックアップ熱源機でつくります。床暖房と浴室乾燥の温水は、エネファームの発電時に発生する熱でも温めます。



注) 戸建用：熱源機一体型のみ マンション用：エネファーム熱利用モデルのみ \*戸建用：熱源機一体型のシステム構成イメージ（実際の構成とは異なります）

停電などへの備え



停電発生時にエネファームが発電している場合は、発電を継続して専用コンセントから電気を供給します。専用コンセントへの接続により、停電時の暮らしをサポートします。

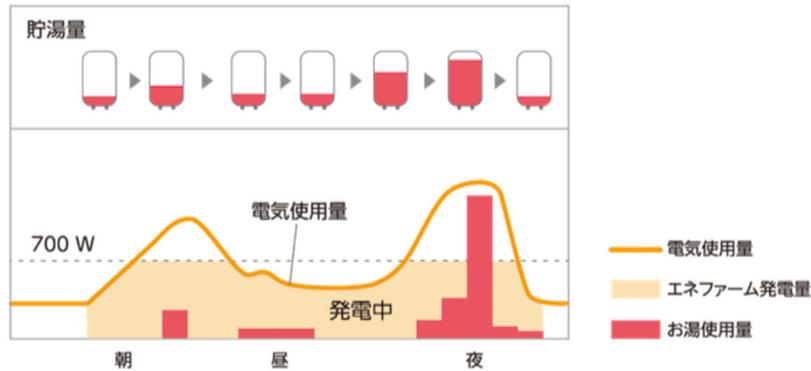
## 【部品の特長 ②】

### 1日の電気・お湯の使用量にあわせて自動で省エネ運転



エネファームは、電気やお湯の使用量と使用パターンを学習し、各ご家庭の生活パターンを予測して、もっとも省エネになるように、自動で発電し、必要なお湯をつくります。

#### ●1日の運転イメージ例



- 運転イメージは一例です。発電時間は、季節やご家庭の電気・お湯のご使用状況によって異なります。
- 住戸内で消費するすべての電気・お湯をつくることを保証するものではありません。
- 電気・お湯のご使用状況によっては、発電しないことがあります。
- 発電モードを選べます。省エネ運転をする場合は「おまかせ」がおすすめです。
- 機器の性能を保つため、連続発電時間は最大120時間（5日）までとなります。1日の発電回数は、所定日数がある場合に限り、2回まで発電できます（予約発電では、設定した時間内において1回のみ発電を行います）。
- 冬場は水温が低く、お湯の使用量が多いため、貯湯量が増えにくくなります。
- 次に発電が開始されるまでに2時間以上の機器内部リフレッシュ（発電停止）を必要とします。

### NEW SYSTEM 太陽光発電を優先する新機能「おてんき連動」

#### エネファームが天気予報にあわせて運転

#### 太陽光発電のFIT制度による売電期間が過ぎたお宅をサポート

新しいエネファームは、（株）ウェザーニューズと連携し天気予報にあわせて稼働する「おてんき連動」を搭載しています。天気予報が晴れて、太陽光の発電量が多いと予測される時間帯は、エネファームの発電を停止し太陽光発電でつくった電気を優先的に使用します。太陽光発電を自家消費したい卒FIT住宅にぴったりの新機能です。

- おてんき連動は、ネットワーク関連初期設定を開始してから10年間のご利用が可能です。10年経過以降は利用できなくなります。
- ネットワークサービスは、やむを得ない事情などにより、予告なく変更・中止になる場合があります。



推奨基準への対応	I.省エネルギー・脱炭素化	○	VII.室内環境の汚染防止	
	II.省資源		VIII.ユーザーのニーズに応える質の水や空気の提供	
	III.耐久性	○	IX.ユーザーのニーズに応える安心・安全の提供	
	IV.3Rの推進	○	X.自然・天然素材の活用	
	V.地球環境の汚染防止		XI.レジリエンスの向上	○
	VI.地域環境の汚染防止	○		
部品に関する連絡先	-			

### 一般社団法人 環境共生まづくり協会

※環境共生住宅推奨部品は、一般社団法人 環境共生まづくり協会が一定の基準に従って推奨している部品です。  
※製品の掲載情報については、製品を製造・供給・販売等を行う企業に帰属します。